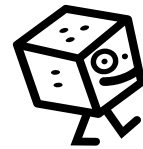


発行日：

2013年4月1日

明治学院大学心理学部 白金心理学会報

さいころ



第5号

2012-2013

白金心理学会イベント

- 2012年6月9日
白金心理学会第5回大会：総会、研究奨励費獲得者によるプレゼンテーション、博士後期課程修了生(北風菜穂子さん)による講演、パネルディスカッション「現代社会とコミュニケーション」、懇親会開催
- 2012年7月7日
白金心理学会在学生会部会SC第7回キャリア支援シリーズ「私、院に行きます。2012」開催
- 2012年12月18日、20日
白金心理学会在学生会部会SC第8回キャリア支援シリーズ「院進学ってなんだろう」開催

目次：

会報第5号に寄せて	1
第6回白金心理学会大会のお知らせ	1
在学生会部会活動報告	2
研究奨励事業報告	2
心理学というつながり ～井上先生の変わらぬ熱い思い～	3
新任教員のご紹介	4
事務局よりお知らせ	4

会報第5号発行に寄せて

金子 健 学会長(心理学部長)

白金心理学会の会報「さいころ」の第5号をお届けします。20世紀末に始まる文学部心理学科時代の卒業生有志の集まりを母体にして、白金心理学会が設立されてから6年目に入りました。今年で創立150周年を迎える明治学院の中であって、新しい時代の要請に応じて設立された心理学部が、この新しい芽生えを着実に成長させていることを、支えて下さったすべての方々に感謝し、会員の皆様と共に喜びたいと思います。

3年前には教育発達学科が発足して、心理学科との二学科体制になり、学部の学生定員がこれまでの一学年200名から260名に増え、学会会員は着実に増加しています。学会の活動も、研究奨励費の制度がスタートして、会員の研究活動に助成ができるようになるなど、活発化しています。SCの皆さんによるキャリア支援のプログラムも、回を重ねるごとに活動が知られるようになり、学

生・院生の縦のつながりが緊密になってきました。

今後、学会が在学生の皆さんにとって、より身近な存在になるよう活動を充実させていきたいと思えます。また、卒業生の皆さんへの情報提供を充実させ、卒業後の仕事や生活に役に立つ学会でありたいと願っています。大学での学びと社会における活動、その両者の相互作用によってそれぞれが高まるという循環型学習システムの構築が学会設立の意図のひとつでもあります。

その学会設立に大きな役割を果たしてくださった井上先生が退職されました。先生の卓越した発想と行動力なしでは、学会の誕生はなかったでしょう。先生に感謝申し上げるとともに、今後ますますのご活躍をお祈りいたします。



金子 健 先生

第6回白金心理学会大会のお知らせ

出井 雄二先生(教育発達学科准教授)

みなさん、こんにちは。この冬はひととき寒さの厳しい日が続きましたが、いかがお過ごしでしょうか。さて、白金心理学会第6回大会が6月9日(日)に開催されることになりました。大会プログラムの詳細が決まりましたのでお知らせいたします。今回は大会テーマを「こころを育てる」として様々な企画を考えました。

今回の大会の特色は「参加しやすい大会」、「参加してよかった大会」をめざして、日程や演者の選定に工夫を凝らしました。

まず、総会では白金心理学会のさまざまな活動と計画についてご報告いたします。

続いて、前回大会より始めた研究奨励費獲得者の研究成果報告と今年度の獲得者による研究計画の発表があります。これは白金心理学会として研究を奨励する意味で1件につき5万円の研究奨励費を交付するものです。学生・院生および卒業生が心理学に関わる研究をする手助けになればという意味があります。

次に、この3月に大学院心理学研究科博士後期課程で博士号を取得したお二人の講演です。榊原

佐和子さんには「恋人への暴力生起に関わる認知要因：デートバイオレンス加害モデルに基づく検討」、飯田敏晴さんには、「エイズ相談促進における健康信念モデルに基づいた検討」という演題(仮)でお話をいただきます。

そして今大会のメイン企画として、子育て論で有名な大日向雅美先生(恵泉女学園大学人間社会学部人間環境学科教授)をお迎えし、「現代社会と子育て」というタイトルでご講演をいただきます。

さらに、今大会でも前回好評でしたティー・ブレイクの時間を設けました。話題提供者への質問はもとより、お世話になった先生に近況を報告するなど、有意義にお使いいただければと思います。

もちろん夕方からは例年と同じく懇親会も予定しておりますので、こちらも是非ご出席ください。同級生、先輩後輩、教員との親睦を深めていただければと思います。多くのかたの参加をお待ちしています。

在学生部会活動報告

佐藤 翔悟（在学生部会SC）



第7回キャリア支援シリーズ「私、院に行きます2012」

本学大学院生による全体への進学説明会の後、疑問に答えたり、研究計画書の添削など、個別相談も行われました。



第8回キャリア支援シリーズ「院進学ってなんだろう？」

本学現役院生が、後輩たちに、実体験を語ってくれました。質問にも丁寧に答えていました。



研究奨励費獲得者によるプレゼンテーションの様子

スライドを効果的に使うなど、どの発表もわかりやすいように工夫されたプレゼンでした。

こんにちは、白金心理学会在学生部会SCです。2012年度の活動を報告します。

在学生部会では、新入生の支援を目的として、フレッシュヤーズ研修とスポーツ交流会を毎年企画しています。2012年度は、4月にフレッシュヤーズ研修を、6月に心理学科スポーツ交流会、5月と12月に教育発達学科スポーツ交流会を開催しました。フレッシュヤーズ研修では学校生活についてのガイダンスと、クラスごとに分かれてクラスアドバイザーの先生方にクラスミーティングを行っていただきました。食事会では新入生のテーブルにSCや教職員の方を交えて、学校生活や対人関係を充実させていく上でのアドバイスをしました。

スポーツ交流会では、体を動かしながら新入生同士はもちろん、先生方や、SCとの交流も深められる機会となりました。

6月に開催された白金心理学会第5回大会では、当日の準備や運営のお手伝いをさせていただきました。講演会やラウンドテーブルで、貴重なお話を聞くことができました。

研究奨励事業報告

白金心理学会研究奨励費事業は、在学生・卒業生・修生生の研究活動を促進する目的で、2012年度から始められた新しい事業です。学部3年生以上の本学会員が個人またはグループで実施し現任の心理学部教員の推薦を得ている研究に対して研究奨励費を支給します。研究期間は当該年度の白金心理学会大会から約1年間とし、最多で3件まで支給されます。

2012年度は募集に対して3件の応募があり、本学学部教員が公正に選考を行った結果3件への支給が決定し、白金心理学会第5回大会においてそれぞれの研究計画が発表されました。心理学科3年生の永富まどかさん他1名が恋愛行動の積極性の変動と季節の変動との関連について質問紙を使って調査研究を行う「恋愛行動と季節の関係」、心理学科3年生の櫻田みのりさん他15名が人の好悪と視線の動きの偏りとの関連について視線計測装置を用いて実験研究を行う「視線の動きと好みの関係」、心理

10月から11月には、白金心理学会ホームページの「ゼミ情報」を更新しました。昨年と同様に“ゼミ生の生の声を聞きたい”ということで、各ゼミ長を中心に執筆していただきました。各ゼミ長とゼミ生の皆様、ご協力ありがとうございました。

12月には、2日間にわたり、キャリア支援イベント「what's 院進学!!」を開催しました。本学専攻科の臨床心理コース、発達心理コースの大学院生をお招きし、進学に向けた勉強法や、大学院での生活についてお話をさせていただきました。山仲彩代さん(臨床心理コース1年)、村上武さん(臨床心理コース1年)、須藤竜之介さん(発達心理コース1年)、貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

1月には新たなメンバーも加わり、活動の幅がさらに広がると感じています。そのため例年行われているイベント以外にも、新しいイベントを企画できるようにしていきたいと思います。これまで以上に精力的に活動できるように、一丸となって頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。

中井 あづみ先生(心理学科准教授)

学研究科臨床心理学コース博士前期課程1年生の狩俣華子さん他2名が卒後の研鑽のあり方について現場の臨床家に半構造化面接を行う質的研究である「領域や理論を越えた臨床心理士の卒後研修の事例分析」の発表でした。

受給者には3点の成果発表が求められます。中間報告書を提出すること、翌年度に開催される白金心理学会大会で口頭発表を行うこと、論文を執筆して白金心理学会に提出することです。2012年度受給者の口頭発表は、本年6月9日に開催される白金心理学会第6回大会の中で行われる予定です。中間報告書を読むと、いずれの受給者も研究奨励費を計画的かつ有効に活用しながら着実に研究を進めているようであり、発表が楽しみです。

この研究奨励費事業は白金心理学会のホームページを通じて募集が発表されます。実施要項や申請方法なども併せて掲載されています。多くの学会員が本事業に応募され、研究活動がますます活性化されることを期待します。

心理学というつながり ～井上先生の変わらぬ熱い思い～

今 莉奈(在学生部会SC)

今回15年に渡り本学で教鞭をとられ、13年度で退職された井上先生とSCスタッフである今が対談をしました。

「なんでも新しいことが好き！知ることって楽しいじゃない？」そう話す井上先生は輝いて見えました。現在明治学院大学副学長として、忙しい日々を送っていらっしゃる先生はどのようなことを考え、どんな思いを持っているのでしょうか。



【本館10階副学長室にて】

井上先生はなぜ心理学に興味を持ったのかを次のように話します。「私の学生の頃は心理学は一番新しい学問だったし、心を扱うっていうのはミステリアスでロマンがあるじゃない。」そんな風に目を輝かせて話す先生にわたしは心を奪われました。学問として学ぶことはもちろんですが、その中で謎を解明しようとしたり、人の心についてロマンを感じてしまう先生は心理学を学ぶべくして学び、そして心理学の本当の面白さを知っている人なのだろうと感じました。

そんな井上先生が普段大切にしていることがあるそうです。それは、先生の話すことをただ書き写すような机上の学びではなく、学生と先生が互いに交流し学び合うということです。現代は情報化社会と呼ばれ、ネット等により莫大な情報が飛び交っています。よってただ情報を発信するのではなく、学生が持っている情報の組み立て方のアドバイスをすることこそが今求められていることなのだと先生は話します。またゼミでは学生それぞれに固定の席と役割を決めているそうです。

「人の心は環境・自分・人間関係の中の重なった所にできるから、必ず自分の居場所をつくってあげたいんです。」高校までは何かしらの形で居場所を提供されてきましたが、大学では自身によって居場所を見つけ獲得していかなければいけません。その方法は教えられてきたわけではなく、戸惑うことも考えられます。そんな時に固定の席があるというだけで一つの居場所となり、それからの自身の居場所を見つけるきっかけとなるのではないのでしょうか。

このようなことを日々感じ思いながら歩んでき

た井上先生に、これからの心理学部について伺うと、「明治学院大学の心理学部が変化し、成長していく過程にちょうどいられたことが本当に嬉しかった。これからはもっと様々なことを学び合えるようにシステムを変化させ、両学科がそれぞれに学び合えるようになって欲しいと思います。そのためにも白金心理学会に学生がもっと積極的に参加してほしい！絶対に意味のあることだから。」と熱く語られていました。白金心理学会は心理学を学ぶ、学んだ者のための学会として誕生し、学部生が卒業生等様々な人へ発信できる場所として存在しています。しかし、その本来の役割は依然として果たしてはいないと言えます。それは現在の白金心理学会は教職員や卒業生の方々によって支えられていると言えるからです。学会と聞くと敷居が高いように感じますが、これからは心理学科と教育発達学科という二つの学科が一つの学部として協力し盛り上げ、教職員や卒業生と共に自分達の学ぶ幅を広げていくことが重要となるのではないのでしょうか。やってもらうのではなく学生一人一人がアイディアを持ち、それを発信していかなければいけません。「習うのではなく学ぶのが大学なんです。」井上先生のこの言葉はわたしたちがわかっているようでわかっていないことをズバリ指していると感じます。わたしたちはそれぞれが自身の考えを持っています。そしてその学ぶ要素を発信する場所として白金心理学会があります。わたしたちは、ただ何かを待っているだけの大学生活ではなく、自分から何かを発信する大学生活を送ることができる環境にいます。大学生でしかできないことはそこにこそあるのではないのでしょうか。

今回の取材を通して心理学部生のために様々なことを考え、実行してきてくださった、たくさんの方の存在を知りました。井上先生はその中の一人であり、熱い思いと現状に満足しない気持ちを常に持っています。そして同じ学問を学ぶ同士とも言える存在です。学生からの人気はもちろんのこと、先生方からの信頼が厚い理由は井上先生の生き方そのものにあつたのだと思います。これからわたしたちは心理学を学んだ者として社会へ出ていきます。そして何かに迷ったり、躓いた時に立ち返るのは心理学なのです。明治学院大学の心理学部生としての学びを忘れずに持ち続けることが、わたしたちの人生の糧になると信じて進んでいきたいです。



多趣味な井上先生
楽器演奏もお好きだと
か。マンドリンにウクレレ
も愛好し、さらに、シン
セサイザーも購入され
たとのこと。退職後のお
楽しみだそうです。
「なんか新しいことしな
いとつまらないじゃな
い」と井上先生らしいお
言葉でした。



井上先生(右)
今さん(左)

今回のインタビューを通して、この学校のこの学部に入學して本当によかったと感じ、井上先生の授業をもっと受ける機会が欲しかったなと思いました。本当に良い経験となりました。

【今 莉奈】



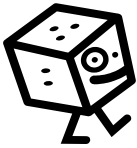
明治学院は2013年に
150周年を迎えます
<http://mg150.jp/>



井 陽介先生



石井 国雄先生



白金心理学会
イメージキャラクター
「さいころくん」

発行：
明治学院大学心理学部
白金心理学会 事務局

〒108-8636
東京都港区白金台1-2-37
明治学院大学
心理学部共同研究室内

TEL & FAX:
03(5421)5814

問い合わせ用E-mail：
shinro@psy.meijigakuin.ac.jp

第6回白金心理学会大会
参加申し込み及び住所変更
は下記URLまで

URL：[http://
psy.meijigakuin.ac.jp/shiropsy/](http://psy.meijigakuin.ac.jp/shiropsy/)

新任教員のご紹介

井 陽介 先生 昨年の5月から縁があつて明治学院大学でお仕事をするようになりました。珍しい名前ですが日本人です。出身は熊本です。教育実習全般で学生の皆さんとはお会いできるかと思ひます。また授業の補助でも入ることがありますので、気軽に声をかけて下さい。どうぞよろしくお願い致します。

石井 国雄 先生 心理支援論 1B、2Bなどの授業補助を担当します。専門分野は社会心理学で、とくに偏見・ステレオタイプに関連した社会的認知研究を行っています。出身は明治学院大学で、花田ゼミに所属していました。授業でわからないことがありましたらぜひご相談ください。

事務局よりお知らせ

○2013年白金心理学会第6回大会が開催されます

来る2013年6月9日(日) 13:00から白金校舎において「白金心理学会第6回大会」を開催いたします。当日は懇親会もございますので、同期の仲間や後輩たちに会ういい機会となります。皆様お誘いあわせの上ご参加下さい。(HPからの事前申し込みにご協力ください。なお、懇親会のみ有料です。)

○教員からのお知らせ

2013年3月にて、井上孝代先生が退職されました。
今年度のサバティカルは野末武義先生です。今年度は出校なさいませんのでご注意ください。

○規約の改定

第5回大会総会にて、規約の改定が承認されました。改定後の規約を、この会報郵送時に同封いたしますので、ご確認ください。

○卒業生のみなさまへ 白金心理学会にご入会下さい！

すでに心理学部および心理学研究科の皆様には入学・進学時にリーフレットを配布しご案内しておりますが、在学期間中は学会費として一人年間2000円をお預かりしております。

卒業生の皆様におかれましても、この機会に是非ご入会下さいますようお願いいたします。

お預かりした会費は、次のような活動の費用に充てられます。

- ①心理学部(前身諸学科含む)卒業・修了生、教員、在学・在院生、との交流会の企画および運営
- ②在学・在院生、卒業・修了生のキャリア支援のためのイベント企画及び運営
- ③心理学部(前身諸学科含む)、心理学研究科名簿管理
- ④年次大会・総会開催、会報発行、講演会企画及び運営
- ⑤白金心理学会に関わる広報活動。

ご不明な点は、白金心理学会事務局までご連絡ください。皆様のご入会をお待ちしております。

○卒業後の住所変更登録にご協力下さい！

卒業時から住所が変わっている方、また、ご実家の住所が変わっている方は、白金心理学会事務局にご一報ください。住所変更登録は白金心理学会HP「卒業生へのお願い(連絡先変更登録)」ページで登録できます。ご協力をよろしくお願い致します。